



# 普通科通信

H23年  
12月号



今年のフロンティア事業のテーマは「福高スクラムⅡ」周囲の皆様の協力を得てさらに前進します。

## 普通科「学び」の一場面を紹介

調査内容を人に伝える喜びを味わう ～みらい考交流会～

以前の通信で紹介しましたとおり、普通科1年生は調査活動『みらい考』と称し、5月に決定したテーマに基づいた調査活動を行ってきました。インターネットや図書を用いて情報収集し、テーマについての基礎知識を深め、夏休みには関連施設への訪問や実験・創作活動等を自主的に行うことで、単なる調べ学習ではなくテーマに関する「自分にしかできない調査活動」に取り組みました。そして2学期はレポート作成を完成させ、その調査結果を分かりやすく人に伝えることを目的に、11月24日（木）にグループ交流会を実施しました。

クラスの枠を超え7、8人を1グループとして、A4用紙1枚にまとめた調査結果をもとに3分ずつ発表しました。本当に好きなことには、時間を忘れて没頭でき、発表でも熱意をもって語ることが出来ます。



生徒は実物を持ってきたり、パネルを作成して見せたりして分かりやすく伝える工夫をしていました。その思いが聴き手の心を動かし、和やかな雰囲気の中で互いの発表に聴き入ることが出来ました。交流会で、特に発表やレポートが良かったと評価を受けた代表数名は、1月の学年集会でその成果を発表する予定です。

文章のプロから正しい表現方法を学ぶ ～新聞活用セミナーⅡ～

本校では、昨年度から朝日新聞社の方を講師にお招きし、1年生を中心に新聞活用セミナーに取り組んでいます。1学期には天声人語の書き写しを行い、プロの表現方法を真似ることから学んできました。



11月16日には、朝日新聞社から講師をお招きし、新聞の構成や見出しの重要性、新聞の表現方法等を学び、正しく分かりやすい文章で表現することの大切さを教えていただきました。

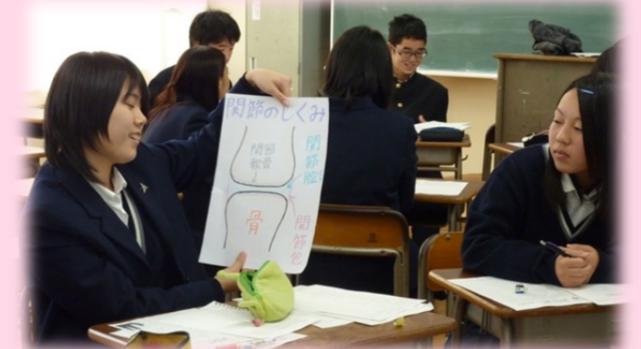
## 取組紹介みらいの窓

福高作文  
～みらい考交流会～

1年4組 大野 秀穂くん（福知山市立桃映中学校出身）

今回、みらい考という機会をもらって、リハビリテーションについて調べ、自分の夢である作業療法士になりたいという思いがより一層強くなりました。今後も自発的に調べていきたいです。

また、他の人の発表もレベルが高く、実物を用いてわかりやすく伝えていた人や、表を作ってそれを見せながら発表した人など、工夫がたくさんありました。他の人の発表で、実際に自分で実践してみたいなあと思うものがいくつかあり、自分の生活に役立てていきたいと思いました。普段、あまり顔を合わせることがない他クラスの人と交流ができてとても良い経験になりました。また、こういう機会があれば、積極的に調べていきたいと思いました。



1年2組 三ツ池 栞さん（福知山市立日新中学校出身）

みらい考の交流会をやってみて、調べる時間もたくさんあって、自分の好きなことについてこんなに詳しく調べるのは初めてだったので、すごく楽しかったです。

みんなが調べたことについてお互いに発表し合いましたが、発表の仕方も様々で、すごく楽しめて、おもしろかったです。こういう交流会もいいなと思いました。私は班長として、やってみたかった司会ができ、楽しい時間が過ごせてよかったです。

私は好きな人物について調べたのですが、他の人達の発表は、家族に協力してもらってレポートを作ったり、気温をはかって調査したり、グラフで分かりやすくまとめてあったり、レポートの書き方や調べ方も様々で、色々な調べ方があることを知ることができて良かったと思います。1人1人発表が終わると拍手も出て、楽しくできました！



1年5組 池水 彩夏さん（福知山市立成和中学校出身）

みんながいろんな分野の内容を調べて、それをもち寄って発表するという、いい機会をもらえてよかったです。いろんな分野の話が深く掘り下げられて発表されていて、聞いていて初めてのことも多かったですし、とても興味深い内容ばかりだったので、聞いていて飽きませんでした。自分たちの日常生活に役立つ内容ばかりだったので、これらを普段の生活に活かせたらなと思いました。

また、いろんなクラスの人がこうやって集まって発表ということがあまりないので、とても新鮮でした。1人1人が生き生きとして発表できていたのでよかったです。自分の発表もしっかりできたのでよかったです。

今度またこのような機会があったときには、今日の経験を活かして、もっといい発表をしたいと思います。

